

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年4月17日時点)

➤ **露軍は、クルスク州及びウクライナ東部・南部地域**において攻勢やウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続。また、ウクライナ軍も露領内への攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: **死者約20万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)

: **死傷者約90万人**(英国防省25年3月20日)

「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: **死者約8万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)

「ウ」市民: **死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上**(UN25年2月21日)

- ゼレンスキー大統領は、**クルスク州に露兵士6.4万人**が所在と言及(4月4日)
- 「ウ」海軍総司令官は、以前は**無人機でセヴァストポリ港に容易に侵入**できたが、露が長距離・中距離・短距離の探知ネットワークなどからなる**階層的な防衛システム**を築いたため、**現在は容易ではなくなっている**旨言及(4月7日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」軍が露クルスク州のほか、**露ベルゴロド州にも存在**と発言。主要な目的は、露の絶え間ない砲撃に晒されているスーミ州とハルキウ州の「ウ」社会を防衛するためである旨言及(4月8日)
- 「ウ」軍総司令官は、3月末から兆候をつかんでいた**露のスーミ州とハルキウ州への新たな攻勢**について、**既に開始**しているほか、**主要正面の全てで露の攻勢が倍増**していると発言(4月9日)
- 露国防省は、4月1日にドネツク州**ロズリウ**を解放したと発表

- 「ウ」メディアは、「ウ」保安庁の**無人機**が露**サマラ州**に所在する**「プロムシテズ」社の爆薬工場**を攻撃した結果、爆発と火災が生じたと報道(4月5日)
- ドニプロペトロウスク州知事は、**露が弾道ミサイルによりクリヴィー・リフ市の住宅地を攻撃**し、**18人が死亡**、**61人が負傷**と発表。「ウ」情報総局は、**クラスター弾を搭載したイスカンドールMが使用**されたと表明(4月4日、5日)
- スーミ市軍行政府長官は、**露がスーミ市の住宅地や教育機関などを2発の弾道ミサイルで攻撃**と表明。「ウ」国家非常事態庁は、**34人が死亡**、**117人が負傷**と発表(4月13日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域

- 米務長官は、**米国は露が和平に真剣か否かを知る必要がある**とのメッセージを露特使に託したと発言。また、露の姿勢は数か月ではなく、数週間で見分かれるだろうと言及(4月4日)
- ドイツ国防相は、**IRIS-T防空システム×4機**や**ペトリオット防空システム用ミサイル×30発**などをさらに「ウ」に供与すると発表。また、独「ウ」国防相は、「ウ」への軍事支援に関する協議や調整を行うウクライナ防衛コンタクトグループ(UDCG)の会議において、新たに**電子戦コアリション**が創設されたと発表(4月11日)



国土地理院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等